



愛郷無限

土屋館
どやだて
通信

発行者：大曲・花火通り商店街
文責：辻

お問い合わせ：080-1265-7035
tuck-t@akita-tsujiya.jp

2014年04月03日号 NO.466

写真提供：大仙市

Subject：若手公務員の勉強会【金曜寺子屋】

横手市市役所と、横手商工会議所の若手職員らが、毎月一回【金曜寺子屋】という若手公務員のための自主的な勉強会を開催しています。金曜夜に仕事を終えてから集い、毎回、民間からゲストスピーカーを招いて話を聴き、議論と懇親をする会です。

東北では、若手公務員のネットワーク・連携軸を作っていこうとの思いから山形や宮城県の市役所職員が中心となって【東北OM (オフサイトミーティング)】という緩やかな連携グループが生まれており、現在のメンバーはなんと700名！東北各県の意識と志高き若手公務員や団体職員が、定期的に仙台や山形で勉強会を開催し、自己研鑽、勉強や情報交換、横の人脈・連携作りから、はたまた悩み相談などを行っているそうです。東北の他には、九州で同じような試みがされているとのこと。

横手の金曜寺子屋は、この流れで横手の若手職員が自発的に立ち上げたもの。もちろん東北OMにも参加しています。

彼らはこの集まりを非常にオープンなものにしており、大仙市や仙北市の若手職員や、一般の方にも声かけし共に研鑽に励んでいます。

この勉強会の立ち上げに際しては、部課長レベルの管理職から【派閥を作るつもりか！】と訝しがられ、苦言を呈されたそうです。本当にくだらぬ、低俗且つ大たわけな見方であり、若い人を育てていこうという気持ちも感じられない。本当に残念でなりません。しかしそんなくだらない足引っ張りを乗り越えて実行している彼らは素晴らしいと思います。先週、初めて大曲を会場にして開催され、小生がゲストスピーカーとしてお招きいただき、まちづくりに取り組む想いなどを語らせていただきました。

参加者は35名、みな様に本当に熱心であり、講演からその後の懇親会まで、素晴らしい時間を共有することができました。

本年7月には震災と原発被害の復興進まぬ福島県に於いて、東北全域でのオフサイトミーティング（内輪の集まり）を開催するそうです。

官だの民だのと言って、お互いが分かれて成り立つような緩い時代ではありません。人口減少の中では各々の壁を取っ払って、どんどん人的な連携と交流を図り、効率化・ノウハウの互換、最小限の人員と労力で最大限の力を発揮せねば全てが間に合わなくなる時代に突入しています。

大仙市役所や、大曲商工会議所、大仙商工会など公的団体の若い職員さんは無論のこと、青年部などのまちづくり活動に関わる若い一般人にも今後は是非参加して欲しいものです。